

広域合同演習実施

～ヘリコプター等による情報収集・配信訓練～
(四国東南海・南海地震対策連絡調整会議)



平成20年1月29日四国地方整備局災害対策室において、航空機による迅速かつ効率的な情報収集の実効性と今後の課題の共通認識を図ることを目的として、四国東南海・南海地震対策連絡調整会議(以下、調整会議)によるヘリコプターの実働を伴う広域合同演習を実施しました。

参加した機関は、調整会議の21機関及びオブザーバーの7機関で、災害対策室には、各機関の部長クラスである専門部会員、リエゾン等の93名が参加した外、各機関の災害対策本部とも被害情報の交換(共有)を行いました。実施した内容は以下のとおりです。

■事前準備

演習に際して、事前に情報集約、配信のネットワークの確認、テレビ会議等の一部仮設置を実施。

■ヘリによる映像集約

整備局の愛らんど号、徳島県消防ヘリのうずしお、香川県消防ヘリのオリーブの実飛行による空からの映像収集に加えて、第五管区、第六管区海上保安本部、陸上自衛隊及び高知県からのVTRによる映像を各災害対策本部から整備局へ情報集約のネットワークを活用して、整備局災害対策室へ集約。

■情報配信、整理

整備局災害対策室に集まった映像情報を動画、静止画、連続写真等の状態で配信するとともに、「災害情報地図掲示板」により地図上に整理して示し、Webで各機関より閲覧。なお、静止画については、リエゾンにより着信確認を実施。↓

■意見交換会実施

演習実施後、今後のヘリの演習について、意見交換会を実施。

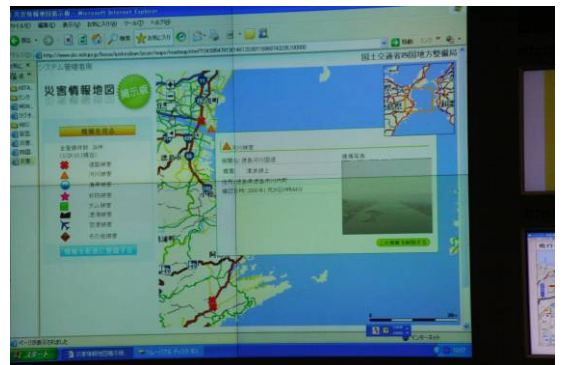


←送られてきたヘリ映像

→災害対策室での情報共有



→災害情報地図掲示板



↓動画より短時間で作成し、各機関へ配信した連続写真

